



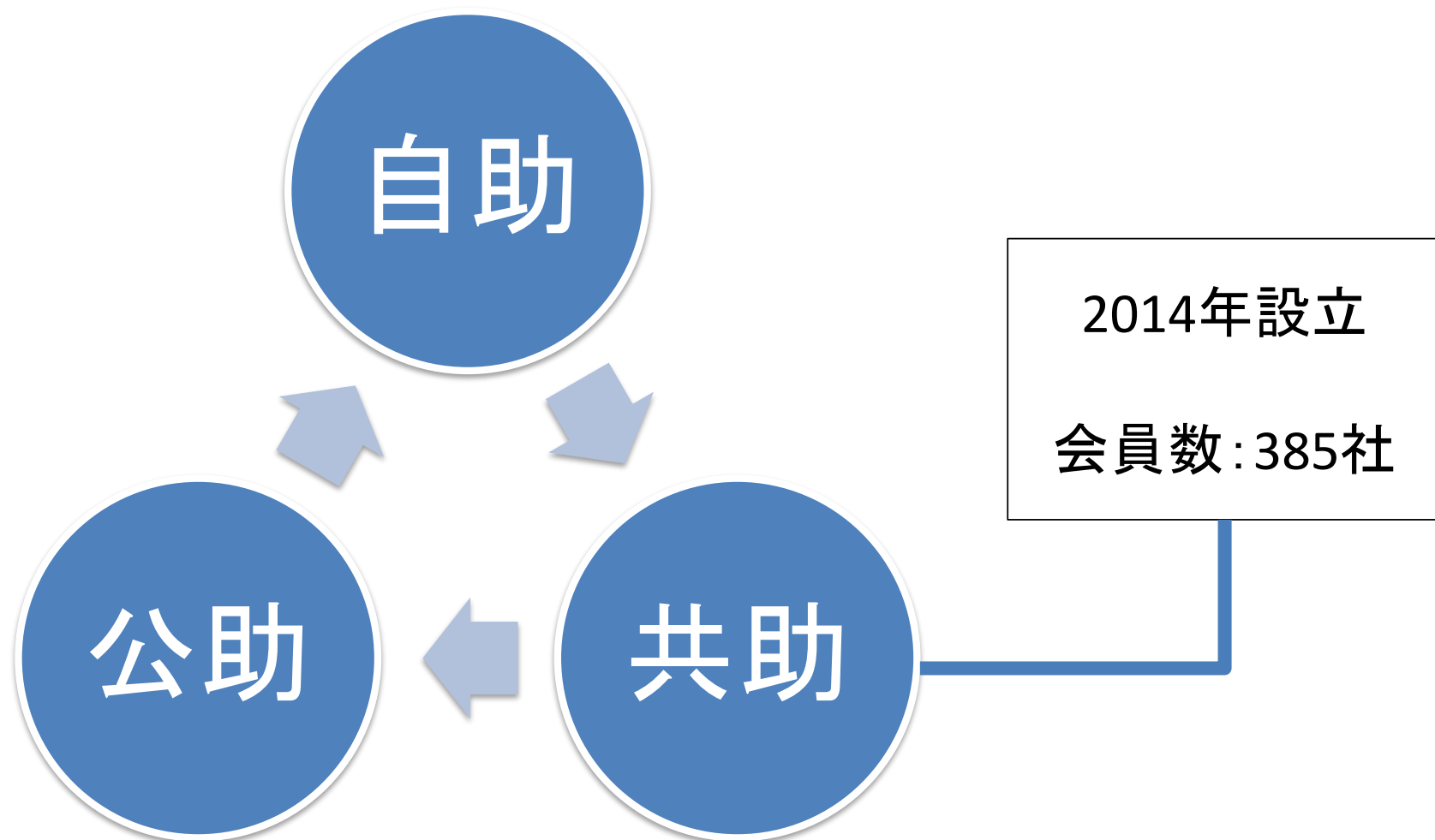
金融ISACのご紹介

@サイバーセキュリティ国際シンポジウム

一般社団法人 金融ISAC
鎌田敬介

<http://www.f-isac.jp>

自助を前提とした共助の力で、金融のサイバー攻撃からの被害を極小化する



活動内容(金融ISAC活動の三本柱)

1. リソースの共有

- ワーキンググループ（WG）活動
 - 会員による自主運営
 - 特定のテーマにフォーカス
 - 分析、対策の検討等を行う
 - 各種成果物の正会員全体での共有
 - 演習等各種イベント開催

2. 情報共有

- 時事情報の共有
 - 発生したインシデント、脅威、脆弱性情報
- セキュリティ情報の共有
 - オープンソース等からの情報を元に、重要度・影響度等を付加した情報を共有

3. カンファレンス・地域イベント開催

- アニュアルカンファレンス（2日間）
- フォールカンファレンス（2日間）
- 地域ワークショップ
- ミニイベント
- そのイベントへの参加

1. リソースの共有：WGと成果物

インシデント
対応WG

共同演習
WG

不正送金
対策WG

グローバル情報
連携WG

スキルアップ
WG

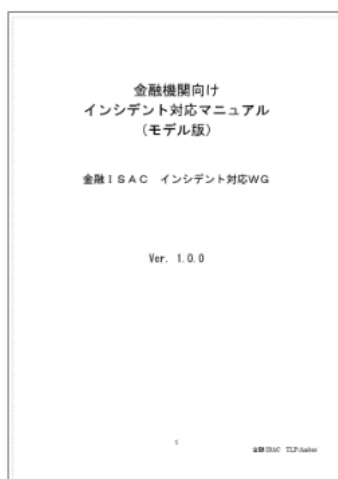
インテリジェンス
WG

ベストプラクティス
WG

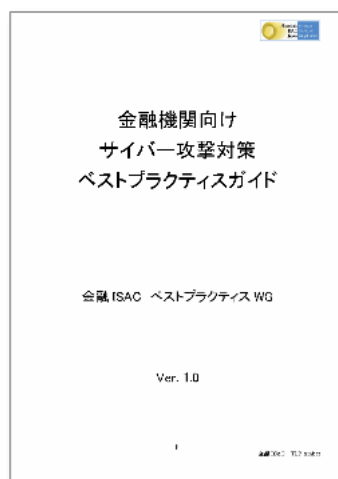
脆弱性
WG

Fintech
WG

AKC
WG



インシデント対応
マニュアル



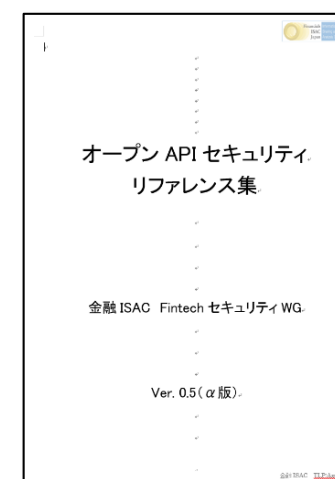
サイバー攻撃対策
ベストプラガイド



インテリジェンス
レポート



不正送金対策
グッドプラクティス



オープンAPI
セキュリティ
リファレンス集

2. 情報共有基盤 SIGNAL

情報共有のための専用Webポータル



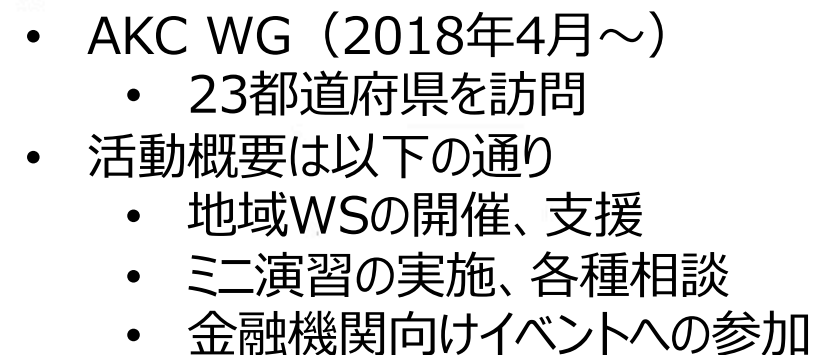
共有される情報

種類
インシデント情報
不審メール情報
脆弱性情報
不審なIPアドレスやURL (インディケーター情報)
米国F-ISAC情報
意見募集や相談

グループの細分化



登録者数2355人



WG活動の例：

共同演習FIRE：全会員を対象とした大規模な机上演習

■ FIRE 2019 の他、ミニ版を各地地域（高知や大阪など）

- 6つのシナリオから参加者が選択
- 約270社が参加



サイバークエスト：机上演習＋サイバーレンジのハイブリッド演習

■ サイバークエストIVを来年2月に開催予定。サイクエミニなどを地域で実施

- 技術チームと管理チームにわかれ、サイバーレンジ演習と机上演習を同一シナリオに対し、連携しながら対応

■ 2018年12月実施のサイバークエスト III は29種類の攻撃シナリオを用意

- 仮想マシン120台（物理サーバ機6台）、ノートPC 200台、ネットワーク機器55台、電話機23台
- 参加者120名、運営20名、レッドチーム10名

Fast, Frank and Friendly

